

財団法人つくば都市振興財団

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	理事長 藤澤 順一 (非常勤)	所管部(局)課	企画部 新線・つくば調整課	
所在地	茨城県つくば市竹園1-10-1	電話番号	029-856-7007	
ホームページURL	http://tsukubacity.or.jp	E-mailアドレス	zaidan@tsukubacity.or.jp	
資本金(基本財産)	597,600 千円	設立年月日	平成3年3月25日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	つくば市	425,000 千円	71.1 %
	2	茨城県	100,000 千円	16.7 %
	3	筑波都市整備株式会社	13,000 千円	2.2 %
	4	財団法人つくば科学万博記念財団	10,000 千円	1.7 %
	5	株式会社常陽銀行	10,000 千円	1.7 %
その他	64 団体	39,600 千円	6.6 %	
設目的	つくば市の振興・発展を目指し、1都市生活向上に関する調査・研究事業 2生活・文化情報など地域情報の収集提供事業 3芸術・文化活動の振興事業 4国際交流事業 5文化・情報施設の管理運営事業 を実施している。これらの事業を通して、さまざまな人種が共生し、多種多様な文化・言語が存在する国際都市つくばにおける住民の生活をサポートし、豊かで魅力ある生活環境を提供する。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内容
事業1 芸術・文化振興事業	100,522 千円	平成16年度で第20回を迎える「つくば国際音楽祭」をはじめ、行政補完事業の位置づけのもと、年間を通じて市内公共ホールを会場に、演劇、舞踊、音楽等の舞台芸術作品の提供(招へい公演)を中心に、市民企画助成、ワークショップなど市民参加型事業を平行して実施。新たな文化芸術の創造と豊かな地域文化を醸成し、市民生活の向上に寄与する。
事業2 文化・情報施設の管理運営事業	204,615 千円	リバホール・つくばカピオの施設管理・運営、つくば文化会館アルスの施設管理を行い、スポーツ・文化活動・生涯学習等の拠点として安全・快適にご利用いただける施設を提供し、住民生活を充実させる。
事業3 国際交流事業	5,258 千円	国際交流フェア、国際交流料理教室、日本文化体験バスツアー、国際交流ボランティア育成及び登録、外国語講座、日本語講座、国際理解推進、ちびっこ英語の広場各事業を実施することにより、国際化が進むつくば市において国際交流・外国人支援を推進する。

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	非常勤理事	13	2	1	11	1	1	11	1	1
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	17	2	1	15	1	1	15	1	1
職員	管理職	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	一般職	18	0	0	18	0	0	18	0	0
	臨時職員	1	0	0	2	0	0	2	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	22	0	0	23	0	0	23	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	0	7	8	5	20	43歳 4月	6年 3月			

[収支の状況]

財団法人つくば都市振興財団

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	358,492	397,078	391,803
	事業収入	248,520	246,031	247,647
	事業外収入	109,972	151,047	144,156
	支出合計	366,742	386,588	393,098
	事業支出	323,030	313,250	317,203
	事業外支出	43,712	73,338	75,895
	うち管理費	86,223	111,341	113,774
	うち人件費	77,738	107,437	108,296
	当期収支差額	-8,250	10,490	-1,295
	正味財産増加額	1,004	884	2,502
	正味財産減少額	1,691	1,908	2,972
	当期正味財産増減額	-8,937	9,466	-1,765
	前期繰越正味財産	647,323	638,386	647,852
期末正味財産	638,386	647,852	646,087	
財 産 の 状 況	資産	676,861	703,114	698,119
	流動資産	62,667	88,908	83,421
	固定資産	614,194	614,206	614,698
	負債	38,474	55,261	52,031
	流動負債	34,438	50,189	45,998
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	4,036	5,072	6,033
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	638,387	647,853	646,088	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	2,816	2,770	2,631
	貸付金			
	計	2,816	2,770	2,631
	財政的関与の割合(%)	1%	1%	1%
	損失補償・債務保証			

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	茨城県近代美術館つくば分館警備業務委託 茨城県近代美術館つくば分館が実施する企画展期間中の夜間警備業務を受託。 貴重な美術品の破損・紛失等を防ぎ企画展の運営をサポートする。
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	0	14	0.0%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	6	40	15.0%
効率性	9	3	32	9.4%
合計	33	22	102	21.6%

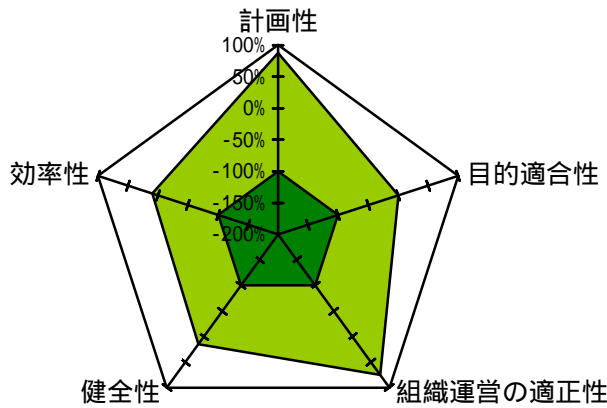
公益法人会計用

財団法人つくば都市振興財団

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>筑波研究学園都市における芸術・文化の振興等に果たす当財団の役割は重要であるが、低金利下での基本財産運用収入の減少、企業協賛金の減少等も見られるところから、更なる経費の削減に努められたい。 また、指定管理者制度への対応として、企画力の充実、サービスの質向上等に取り組みたい。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>市民や企業による企画・運営・資金面への積極的な参画を得ることなどにより、企画・サービスの質の向上及び経費の削減が図られるよう指導していく。</p>

< 財団法人つくば都市振興財団 から県民のみなさまへ >

研究学園都市における芸術・文化振興の中核として、更なる企画の充実、サービスの向上を図るとともに、経費の削減など効率的な運営を推進したい。

平成17年2月 理事長 鈴木 宏

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>今後は、中長期計画について、具体的な経営(数値)目標を設定して事業活動を行っていく。</p>	<p>主な事業である芸術文化・施設管理事業が税法上収益事業とみなされているが、事業内容については、公益事業であり十分な事業の意義を持つと思われる。</p>	<p>適正な組織運営であると思うが、情報公開については、規則の整備を行う必要がある。</p>	<p>事業支出が3期連続100%を超えているため、効率の良い事業展開を図り事業支出の削減に努める。</p>	<p>職員一人当たりの管理費が伸びているため、支出状況を分析し、効率化を図り削減に努める。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>現在の収支の状況は、収入面は基本財産運用益があまり期待できず、補助金・負担金及び委託金に頼っており、支出面では管理費が年々伸びている。今後、経営を安定させるためには、中長期計画を策定し、入場料収入額・管理費削減額等の具体的な目標数値を設定し目的をもった事業運営を図る必要がある。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中長期計画を策定し、計画的な事業展開を図る必要がある。</p>	<p>芸術・文化の振興及び国際交流の活性化など、当財団の果たす役割はますます大きくなると思われるので、引き続き、住民ニーズの把握に努め、効果的な事業の実施に努められた</p>	<p>財務情報について、ホームページ等で積極的に公開する必要がある。</p>	<p>芸術・文化の振興等、収益を蓄積できる事業でないが、安定した集客を図り、採算性に配慮する必要がある。</p>	<p>管理費について、細部にわたる検証を行い、経費の効率的な支出に努める必要がある。</p>
	推進事項		取組み状況	
<p>第三次行財政改革大綱に係る取組状況</p>				
<p>法人担当課の意見</p>	<p>つくば市の芸術・文化の振興及び在住外国人に対する支援活動など、ソフト面で都市の魅力を高める取り組みは、つくばエクスプレスの開業による都市化、つくばの一層の国際化に伴い、今後ますます重要になっていくと思われ、当財団が果たすべき役割は大きい。引き続き、住民ニーズの多様化に対応し、安定した集客に資するとともに、経営の効率化を図る必要がある。</p>			